

平成 26 年 1 月 31 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号
会 社 名 株 式 会 社 ス リ ー ・ デ ィ ー ・ マ ト リ ッ ク ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 高 村 健 太 郎
(コード番号: 7777)
問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行
電 話 番 号 03 (3511)3440

MIT と当社子会社による株式会社メニコンおよび B-Bridge International 社の 特許侵害に対しての提訴に関するお知らせ

当社の米国子会社である 3-D Matrix, Inc.は特許権者であるマサチューセッツ工科大学（以下、MIT）と共に、マサチューセッツ州の連邦地方裁判所に対し、株式会社メニコン（以下、メニコン）および B-Bridge International 社（以下、B-Bridge）に対する特許侵害の申立を行いました。また、3-D Matrix, Inc.は米国特許庁に対してメニコンが保有する特許の正当性に対する異議申立を行いましたので、お知らせいたします。

今回の特許侵害の申立内容は、メニコンの製品である PanaceaGel™が自己組織化ペプチドおよびその使用法に関する 2 つの特許、米国特許権第 5,670,483 号”Stable Macroscopic Membranes Formed by Self-Assembly of Amphiphilic Peptides and Uses Therefor”および米国特許権第 5,955,343 号”Stable Macroscopic Membranes Formed by Self-Assembly of Amphiphilic Peptides and Uses Therefor”を侵害しているというものであります。連邦地方裁判所に対する申立では、メニコンおよび B-Bridge による将来の侵害および現在進行している侵害に基づく金銭的損害を差し止める命令を求めるものであります。

また、3-D Matrix, Inc.が異議申立を行った特許はメニコンが保有する米国特許権第 8,299,032 号であり、メニコン製品の PanaceaGel™をカバーするものと主張されている特許であります。3-D Matrix, Inc.は MIT 教授であり 3-D Matrix, Inc.の創設者である Shuguang Zhang 氏が真正な発明者であることをメニコンが認めていないとして、メニコンによる不作為を主張するために米国特許庁に対してメニコンの特許の再審査請求の申立を行っております。

この度の特許侵害申立は、当社グループの知的財産の保護および強化につながるものと考えております。また、Zhang 教授は、自己組織化ペプチド分野のパイオニアであり、その広範な業績は高く評価され、保護されるべきであると考えております。

当社グループは、知的財産を重要な経営資源であると捉えており、今後も知的財産の侵害行為に対しては毅然とした態度で臨み、知的財産の保護を図ってまいります。

なお、現段階において本件による通期の業績予想および中期経営計画への影響はございません。

以 上